

災害ボランティア割引制度の創設について

平成27年7月

「災害ボランティア割引制度」を実現する会

被災地の復旧・復興は、どれだけ早く、そしてどれだけ多くのボランティアが被災地で活動できるかに大きく影響されます。特に、大規模災害では、全国からのボランティアによる支援が必要とされますが、遠隔地から被災地に駆けつけることを阻むのが交通費、宿泊費の問題です。

このため、当会では、平成26年1月から、大規模災害時に実施されたボランティア車両の高速道路の無料措置と同様、被災地までの交通費や被災地での宿泊費の本人負担を軽減する「災害ボランティア割引制度」の創設を提言し、同制度の創設を求める署名活動を展開してきたところですが、平成27年6月末で約35万人の賛同者を得るなど、この提言への社会的な理解も進んでいます。

については、より多くの災害ボランティアが活動しやすい環境整備について、国においてご検討いただくことへのお力添えをお願いします。併せて、全国の地方議会における意見書の採択に向けた取組など、災害ボランティアの更なる広がりに向けたご支援をいただきますよう、お願いします。

平成27年7月

全国災害ボランティア議員連盟
会長 長島 忠美 様

「災害ボランティア割引制度」を実現する会

世話人代表	高橋 守雄	(兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランタリープラザ)
世話人	村松 淳司	(東北大学 教授)
世話人	長沼 俊幸	(宮城県名取市関上)
世話人	寺坂 龍也	(ひょうご若者災害ボランティア隊)
世話人	森田 将伍	(学生ボランティア)
世話人	細川 愛依理	(学生ボランティア)